

1. 感染防止対策を施したうえでの開催方法の工夫

- (1) 例年1日～1日半の日程で行っていた大会だが、接触時間を減らすため半日に短縮
- (2) 提言は紙上にて発表
- (3) 学校への大人数の出入りを避けるため、公開授業を中止し、実践発表形式での発表
- (4) 開閉会式の簡素化
- (5) 道外企業による教材展示の大幅な縮小により、人流を抑制

2. 会場「かでの2・7」における感染症拡大防止対策の順守

(詳細は「かでの2・7」のHPを参照)

- (1) イベント主催者セルフチェックシートの提出
- (2) 基本的感染対策（マスクの着用、こまめな手洗い、手指の消毒等）の徹底
- (3) 会議室、研修室、ホールでの換気システムの常時稼働
- (4) 会議室、研修室、ホールへの定員を50%以内とし、座席の間隔を確保（別紙参照）
- (5) テーブルは最低1m以上（可能な場合は2m）の間隔をあけて配置し、一方向を向く
- (6) 大会事務局にて、座席を管理（誰がどこに座っていたかを把握）し、後日必要に応じて追跡できるようにする
- (7) 発熱、体調不良等のかぜ症状が1つでもある場合は、大会参加を見合わせるよう呼びかけを徹底
- (8) 不特定多数触れる場所の消毒を、役員がこまめに行う
- (9) 入退場時の密集を避けるため、入退場経路等を考慮し、余裕ある時間を設ける

3. 会場「かでの2・7」への入館について

- (1) 施設入り口に手指消毒用の消毒液を設置
- (2) 正面玄関南側入り口にサーモグラフィ装置を設置（正面玄関北側入口は封鎖）
- (3) 37.5℃以上の発熱のあるものは入館できない

4. 飲食に関すること

- (1) 例年行っていたお弁当の一般参会者への斡旋販売はしない
- (2) 来賓、講師、役員のみお弁当を配布するが、十分距離をとった上での黙食を徹底
- (3) テーブル、椅子等の消毒を徹底

※ それぞれの感染対策を施したレイアウトにつきましては、かでの2・7のHPをご参照ください。
「全体会・分科会A・開閉会式」⇒かでのホール 「分科会B」⇒1060会議室
「分科会C・理事会総会」⇒820研修室